

四国の概観

(すがた、産業、くらしから)

	順位	徳島	順位	香川	順位	愛媛	順位	高知
H23FY 総面積	36	4,147km ²	47	1,877km ²	26	5,678km ²	18	7,105km ²
H21FY 森林面積割合	09	74.9%	37	46.5%	18	70.4%	01	83.3%
30年平均 日照時間	06	2092.9時間	11	2053.9時間	15	2017.1時間	02	2154.2時間
30年平均 降水量	29	1453.8mm	46	1082.3mm	33	1314.9mm	01	2547.5mm
H21FY 県内総生産(名目)	44	26,434億円	37	35,876億円	27	46,320億円	46	21,408億円
H21FY 第一次産業	34	581億円	36	558億円	22	1,028億円	27	848億円
H21FY 第二次産業	40	7,539億円	34	9,166億円	26	10,679億円	47	3,025億円
H21FY 第三次産業	44	19,494億円	38	27,470億円	26	36,423億円	46	18,304億円
H21FY 県民所得/人	19	2,590千円	23	2,551千円	35	2,323千円	47	2,017千円
H23FY 家賃 (民営賃貸住宅) (1か月3.3㎡当たり)	38	3,741円	14	4,443円	47	3,273円	37	3,747円
H21FY 貯蓄現在高 (2人以上の世帯) (1世帯当たり)	05	17,502千円	01	19,725千円	31	13,178千円	36	12,153千円
H21FY 小売店数 (人口当たり)	04	11.75店	17	10.70店	18	10.69店	02	12.53店

総面積 5.0%、総人口 3.2%、域内総生産 2.7%の四国地域。自然が豊かで農林水産業に強みがあることに加えて生活指標をみると全国平均を上回っている指標が多く、大都市では得られない「くらし」が垣間見えます。

※ 出典: 「統計でみる都道府県のすがた2013 総務省統計局」「平成21年度の県民経済計算について 内閣府経済社会総合研究所」「気象庁ウェブサイト」

四国の農作物

にら	なす
1位 高知 16,000t	1位 高知 33,700t
2位 栃木 11,300t	2位 熊本 31,000t
3位 茨城 6,980t	3位 群馬 22,100t
しょうが	カリフラワー
1位 高知 24,000t	1位 徳島 2,390t
2位 熊本 6,470t	2位 茨城 2,330t
3位 千葉 4,100t	3位 愛知 2,230t
洋らん類 切り花類	ゆり 切り花類
1位 福岡 3,330千本	1位 埼玉 28,200千本
2位 徳島 3,210千本	2位 高知 19,800千本
3位 沖縄 1,960千本	3位 新潟 16,600千本
みかん	キウイフルーツ
1位 和歌山 181,800t	1位 愛媛 6,520t
2位 愛媛 150,000t	2位 福岡 4,130t
3位 静岡 128,200t	3位 和歌山 2,930t
れんこん	ピーマン
1位 茨城 27,600t	1位 茨城 35,200t
2位 徳島 7,100t	2位 宮崎 26,300t
3位 佐賀 4,400t	3位 高知 13,400t

※ 出典: 「平成23年産野菜生産出荷統計 農林水産省」「平成23年産果樹生産出荷統計 農林水産省」「平成23年産花き生産出荷統計 農林水産省」

四国のGDP (国内総生産)

シンガポール	1,366 億ドル
コロンビア	1,360 億ドル
ルーマニア	1,227 億ドル
フィリピン	1,176 億ドル
四国	1,174 億ドル (日本全体の3%)
アルジェリア	1,165 億ドル
ハンガリー	1,129 億ドル
エジプト	1,122 億ドル
ウクライナ	1,078 億ドル

四国の人口

ノルウェー	481 万人
ニュージーランド	426 万人
四国	404 万人 (日本全体の3%)
横浜市	358 万人
モンゴル	267 万人

※ 出典: 「経済産業省 世界の統計2009」「国勢調査2009(2009年国勢調査)」「四国国民経済計算データベース」「平成21年版人口統計(平成20年)」

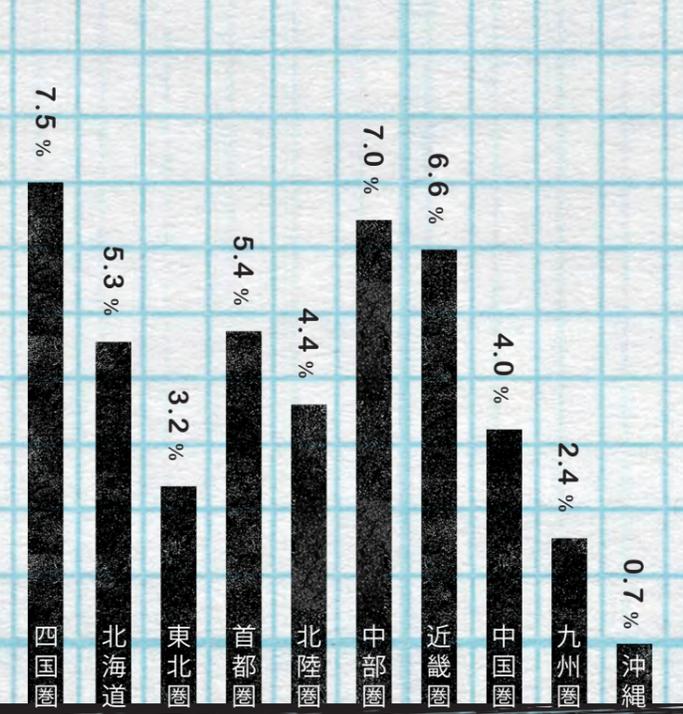
四国四県を統計から眺めてみました

データで見える四国

全さ消
国れ滅
でてが
最い危
もる惧
多集
い落
が

四国は、高い高齢化率、山間地、小規模、地理的末端の集落が多く、今後、消滅が危惧されている集落が多くなっています。

消滅が危惧されている集落の割合(%)



高人口
齢化は
減少は
10は
年20
先行、

年少者(14歳以下)と生産年齢人口(15~64歳)が減少し、老年人口(65歳以上)の割合は全国に先行して増加しています。

65歳以上の人口構成比(%)

